

まなづくる タイムス

Vol.1



まなづくるタイムス 創刊号 小林のぶゆき 検索

2023年10月1日発行

発行人：小林伸行

〒259-0201 真鶴町真鶴 1870-6 204号

Tel: 070-6640-3927

E-mail: info@kobayashinobuyuki.com

FAX: 050-3737-3872

<https://kobayashinobuyuki.com>



「まなづくる」とは真鶴のまちづくりを進めるという意味の造語です。
この新聞は小林伸行本人が執筆し、手作りしています。

対立から対話へ。 町政に新しい風を。



真鶴町のみなさん、はじめまして。

このたび、真鶴町政に

挑戦することに致しました。

そのご報告とご説明を

新聞にまとめましたので、お届けします。

小林 伸行

こばやし のぶゆき



小林伸行とは何者なのか？なぜ真鶴町政なのか？しっかりと説明します。

私の原点／対立を超えて前へ

私は、福島県鏡石町という、小さな町の出身です。小学生の頃に町長の不正疑惑がありました。親が嘆いているのを聞いて、「いつか僕が町長になって町をよくする！」と言いました。親からは笑われましたが、それが私の原点です。

真鶴町の知人からは「実は名簿のコピーは以前から行われていた」とも聞いています。つまり、今回の問題の根っこには旧来の町役場の体質があります。元職員にこれが変えられるでしょうか？ **外の風を入れ、風通しを良くし、膿を出し切るべきです。**

また、かつては旧岩村／旧真鶴村の対立があり、最近では、元町長同士の対立が続いてきたと聞きます。不毛な争いは、もう終わりにしませんか？

私には、一切のしがらみがありません。だからこそ、**真鶴の混乱を收拾するには自分の出番ではないか**、と感じてきました。フアシリテーター（進行役）の経験を活かして、「対立のまち」から「対話のまち」へと空気を一新します。

みんなの声をまとめ、**真鶴を右でも左でもなく、前に進めませんか？**

処方箋を持っている自分こそ

また、私は一昨年、早稲田大学大学院で県内の市町村を研究しました。その中で、特徴的だったのが三浦市と真鶴町でした。市町村比較する中「**真鶴はもったいない**」と感じていました。

具体的には「広域連携」の話です。現在は、水道・下水道・消防・ゴミ処理など湯河原町との連携が中心です。しかし、規模が小さすぎて高コストとなっており、上下水道料金は県内でワースト一位。なお、ワースト二位が湯河原町です。

その他にも消防やゴミ処理など、もっと視点を広げ、小田原市や県とも連携したほうがメリットの大きい行政分野がいくつもあります。

俯瞰的に研究することで見えてきた、この町の打ち手です。**真鶴の処方箋を持っている自分こそ手を挙げるべきだ**、と考えました。

なお、こうした課題を解消したいと考え、実は副町長の公募にも応募していました。ところが、選考自体が無くなってしまい、残念に思っていました。

真鶴を再び、日本最先端に。

かつて真鶴は、国内初のまちづくり条例「**美の基準**」をつくり、**小さくとも日本全体を変えた町**です。

ところが最近では、不祥事ばかりが話題になり、「過疎のまち」「消滅可能性都市」といった負のイメージも独り歩きしています。しかし、そんなに悲観する必要はありません。小規模なりの経営手法がありますし、真鶴には磨けば光る地域資源がたくさんあります。

私は公共経営修士号を取得し、市議として四期、行政経営に携わってきました。この間、地方政治のアカデミー賞と言われるマニフェスト大賞でも多数受賞し、報道でも何度も取り上げられました。理論も実践も積んだ、即戦力です。

今回、退路を断つての挑戦です。私に仕事させてみませんか。逆境だからこそやりがいがありますし、磨いてきた政策力を存分に活かしたい。

みんなの声をひとつに束ね、混乱をバネにして、**日本最先端のスマートタウン真鶴**を一緒につくりませんか。

「対話集会」へお越しください。

私は行政経営についてはプロですが、真鶴町については素人です。

そこで、みなさんの声を伺って町政課題を一緒に考える「対話集会」を企画しました。どうぞ気軽にお越しください。

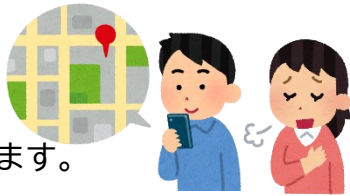
- | | | |
|----------------------|----------|-------|
| ●10/20(金)18:30～20:30 | 真鶴町民センター | 第1会議室 |
| ●10/22(日)14:00～16:00 | コミュニティ真鶴 | 第2会議室 |
| ●10/26(木)18:00～20:00 | コミュニティ真鶴 | 第2会議室 |
| ●10/28(土)14:00～16:00 | 真鶴町民センター | 第2会議室 |

小林伸行のまなづくる構想 Ver.1.0

※政策の詳細は、町民の声を聴いて固めていきます。現時点では、基本的な政策の方向性のみを示しています。

高齢者と子どもの見守り安心サービスを導入

- 高齢者の安否確認を、プライバシーに配慮しつつ希望するご家族等に提供します。
- 小学生の居場所を、いつでもどこでも確認できるアプリを希望する保護者に提供します。



健康と「ピンピンコロリ」を応援

- 特定検診や企業検診を受けた町民に「疾病予測レポート」と地域商品券を無料配布します。
- 商品券として使える「お出かけポイント」が自動で溜まるようにします。
- コミュニティ・バスを抜本的に見直し、お出かけしやすくします。



教育・子育てに全力投球

- 学校にかかるお金が高すぎる！ドンドン無償化を進めます。
- 一人一台端末で一人ひとりの進捗を把握！（スタディログ）メキメキ学力向上を図ります。
- 他市のような塾代助成等を導入します。
- 病児保育・一時預かり(レスパイト)の導入を検討します。
- 育ちに個性のあるお子さんの療育の拠点を整備します。



神奈川県内の上下水道基本料金比較				
順位	市町村名	水道	下水道	合計
1	秦野市	1,496	803	2,299
2	中井町	1,320	1,210	2,530
3	川崎市	1,166	1,452	2,618
4	山北町	1,364	1,320	2,684
5	逗子市	1,562	1,245	2,807
29	横須賀市	1,780	1,942	3,722
30	小田原市	1,804	1,992	3,796
31	三浦市	2,140	2,012	4,152
32	湯河原町	1,702	2,486	4,188
33	真鶴町	3,094	3,038	6,132

上下水道料金はダントツの県内ワースト1位

家計を応援、町民の生活防衛

- 県内ワースト1位の上下水道料金を安くします。
- 家庭の電気代を下げるお手伝いをします(E S C O方式など)。
- 雨水タンクに助成し、水道使用量を減らして災害にも強い町にします。
- カーシェアを誘致し、自家用車を手放せるようにします。



町民の収入を増やし、産業を強く

- 地域商品券を発行し、町内消費を増やします。
- 地場産品の海外販売ルートを開拓し、収入UPを図ります。
- 本小松石を高付加価値にし(3D・CNC等)、富裕層向けに販促します。
- 稼げる漁業へ、町を挙げて6次産業化を応援します。
- 「ふるさと納税」をテコ入れし、売上増&税収増を図ります。



町政への基本姿勢

1. オープン ひらかれた町

情報公開。町民参加。説明責任。

2. クリーン すっきりした町

しがらみゼロ。なれあいゼロ。不正ゼロ。

3. スマート ベンリな町

最先端のスマートタウンへ。

真鶴港の正常化



- 葉山港や芦名漁港の問題解決の実績を活かし真鶴港を活性化します。

緑と人をまもり、まちの価値を向上

- お林を、トラストの発想で積極的にまもります。
- 空き家・終活の特命担当を設置します。
- 過疎債を活用し、コンパクト・シティ化を進めます。
- 平和と人権をまもり SDGs に沿ったまちづくりをします。



なんでもお答えします!

Q&A

Q

「町民じゃなくても町長にはなれるの?」

A

町議会議員は、町民の代表です。
ですから、町民でなければ町議にはなれません。
一方、町長は町役場の代表です。
全国どこからでも優秀な人物を連れてこられるよう、
住所要件はありません。
有名な例として、かつて松沢県知事が東京都民で
石原都知事が神奈川県民だった時代もありました。

なお私事ですが、近く真鶴に引っ越す予定です。

Q

「給料欲しさに町長を目指す人じゃ困るよ!」

A

参考までに、2022年時点の年額報酬です。

真鶴町長 972万円
横須賀市議会議員 1084万円

なお私事ですが、市議としての任期は
3年半残っており、安泰のはずでした。

Q

「小林さんは、なぜ真鶴に関心を持ったの?」

A

大きく3つの理由があります。
(1)大学院の研究で「真鶴はもったいない」と感じた
(2)不正で揺れる真鶴を見て自分の出番だと思った
(3)「美の基準」を調べに来たら真鶴が気に入った

詳しくは二面に思いを書きました。
ご覧頂ければ幸いです。

Q

「小林さんって、漁港問題を極ってませんでしたっけ?」

A

はい。私が調査した芦名漁港の不法占用問題は、
新聞や週刊誌でも多数取り上げられました。
多くの漁業者に迷惑をかけ、みんなの海を勝手に
壊した不法業者は、罰金となりました。
県と横須賀市の業務も改められました。
その他、葉山港の指定管理者問題でも、
歪んだ選考のあり方を取り上げて改善されました。
海の保全には思い入れがあります。

Q

「ちなみに、趣味は何ですか?」

A

シュノーケリングと作曲・編曲です。
三浦半島の磯が気に入って、シュノーケリングできて
通勤圏内ということで14年前に移住しました。
真鶴の海にも何度か来ていて、気に入っていました。
学生時代は、バンドでデビューを目指していましたが、
今はフレーズを書き溜める程度です。

Q

「大学院での研究結果も、見てみたいな。」

A

もちろんです。
コチラから全文ダウンロード頂けます→
<https://tinyurl.com/muxs5tmc>



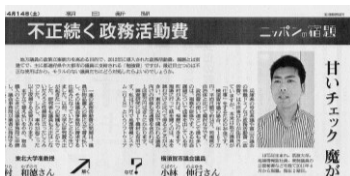
ただし、全文は前置きが長いです。
←面白いマップ部分だけ、ぜひご覧ください。
<https://tinyurl.com/ytnzbbka>

小林伸行の略歴



福島県鏡石町出身。昭和50年生まれ。
48歳。筑波大学を卒業後、地域情報誌
と環境コンサルティングに携わるが、地
域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を
志す。国会議員政策秘書試験に合格、
衆議院議員公設秘書を経て、2011年よ
り横須賀市議を4期13年務める。

2022年3月には早稲田大学大学院を
修了(公共経営修士・MPA)。片山善博
元総務大臣・元鳥取県知事が指導教官。
この間、マニフェスト大賞でも6年連続
8回受賞し、新聞・TVの取材も多数。
全国の議員向けセミナーで講師も務
め、NPOや青年会議所でも活動。



朝日新聞 2018年4月16日号
政務活動費問題の解決策を提言

NHK『首都圏ナビ』2023年9月7日
議会改革の取り組みを取材される



お願いです!

時間がないので、どれだけ多く
の方に政策をお伝えできるかが
カギとなってきます。

- ミニ集会開いてあげようか?
- この人に会いに行ってみて!
- 事務所を貸してもいいよ。

などなど、ご支援頂けましたら
幸いです。

※クリーンな政治のため、献金や
差入は一切頂いていません。
ご理解頂けますと幸いです。